



## スマイルの芽 「体育」と「スポーツ」

秋らしい日が増え、外で運動するのも気持ちの良い季節になってきました。

10月14日は「スポーツの日」でした。以前は「体育の日」という名前でしたが、東京オリンピック2020を契機に2020年から「スポーツの日」に変わりました。「スポーツ」は、「体育」より広い意味を持ち、体を育むのみならず、運動を自発的に楽しむという意味もあることが変更の理由だそうです。

週末、本校の施設開放を利用して、高津の卒業生たちがソフトボールをしています。平日にそれぞれの仕事を頑張った後、週末に仲間と運動を楽しむ姿は、まさにスポーツを楽しんでいるといえるでしょう。

ものごとを自発的に楽しむことができる力は、つまり学び続ける力といえます。自分の生活を豊かにするスポーツ、学校にいるうちにいろいろとチャレンジしてみませんか。



教頭 鈴木 学



## 中学部2年 宿泊学習(あゆみ荘) 10/11(金)~12(土)

「横浜あゆみ荘」で1泊2日の宿泊学習を行いました。中学部になって初めての宿泊でしたが、みんなの顔には不安や緊張は見られず、宿泊学習を楽しむぞ！の気持ちで出発することができました。初日はみんなで電車に乗って、センター北の「カラオケまねきねこ」でカラオケを楽しみました。ドリンクバーでジュースを選んで、みんなで乾杯！マイクを片手にみんなの前で歌を披露し、マラカスやタンバリンを鳴らして大盛り上がりでした。レストランで夕飯のカレーを食べた後は花火をやりました。ルールを守って安全に花火を楽しみ、みんなで夜の思い出を作ることができました。

2日目は売店や自販機で買い物学習を行いました。事前学習で学んだことを思い出しながら、落ち着いてお金の受け渡しができ、自分が選んだものを買えて喜んでいました。

みんなで一緒に電車や花火など校外ならではの経験をし、楽しい思い出を作ることができました。

中学部 岡村 友也



## ひまわり文庫をご利用ください

PTA 予算より購入した書籍でひまわり文庫を開設しています。



中学部・高等部の生徒が読んだり、見たりすることができる『LLブック 仕事に行ってきますシリーズ』や小学部の子どもから保護者の方と一緒に読める『だいじだいじどーこだ？ はじめてのからだ性と性のえほん』、保護者の方向けの『おうち性教育はじめます』『障害のある子が受けられる支援のすべて』などがあります。詳しくは、HPにも掲載「たかつひまわり文庫のご案内」をご覧ください。

相談支援係 奥 玲子



## 生田東分教室 生田東高校文化祭(東陵祭文化の部)9/13(金)~14日(土)

「たかつマルシェ in 生田東高校」

1日目は校内日。お客さんは高校生だけなので、のんびりスタートかな?と思ったら、「飲み物安い!」と開店前から高校生の大行列!!スタートから大忙しとなりましたが、文化祭3年目の3年生がてきぱきと会計や接客の対応をしてくれて、無事乗り切ることができました。2年生は去年の経験から、気持ちに余裕をもってお店を回り楽しむことができましたようにりました。



2日目は、保護者や兄妹、高校生や中学生、お世話になった先生等がぞくぞくと来店し、お店にはお客さんが常時並ぶ状態でした。商品が次々なくなるので、分教室の教室とお店の間を重たい飲料を持って何往復もする補充担当は、とても大変でした。1年生は、保護者の方が大勢来てくださり、少し恥ずかしそうにしながらも、しっかり自分の担当をこなしていました。

生徒みんなの頑張りで、飲料、アイス、自主製品計1,200ヶの商品が売れました!!



もちろん、他の催しものや、ダンス部等のステージ発表鑑賞も楽しみましたが、商品が次々売れることにやりがいを感じ、充実した2日間となりました。来校して下さったみなさま、ありがとうございました。

生田東分教室長 城倉 朋子



## 川崎北分教室 足柄宿泊学習 9/29(日)~10/1日(火)

2泊3日で、1・2年生合同の足柄宿泊学習に行ってきました。1日目は村内ウォークラリーでふれあいの村の広さを体感しました。2日目は登山の予定でしたが、生憎の天気以最乗寺までのハイキング。おみくじを引いたり、アイスを食べたりして楽しみました。ふれあいの村に戻ってからはレクリエーションやキャンプファイヤーで学年を超えて交流を深めました。最終日は自然の素材を用いたクラフト作り、趣向をこらした素敵なアクセサリを作ることができました。天気は少し残念でしたが、その分ゆっくり交流を深める時間が取れ、充実した宿泊学習になりました。



川崎北分教室副室長 石井 祐吏



# 食育



2学期の給食が始まり2か月が経ちました。給食のあとの子どもたちの姿は、輝いて見えます。片付ける時に「ごちそうさま」と言いに来てくれる子もいて、とても励みになります。

さて、9月中に行ったカレーフェス(カレー月間)では、高等部考案のカレー7種の中から美味しいと思ったカレーに投票するイベントを行いました。その結果得票数の多かった上位3つを紹介させていただきます。



**1位 1B チーズカレー** ほうれん草を使用していますが、青菜が苦手な子もカレーと一緒に食べられそうですし、はちみつを使用しているのでカレーの味もマイルドになります。チーズをかけることでクリーミーな味に仕上がっているカレーです。

**2位 3B ようけすっぱいBカレー** 「ようけ=いっぱい」のという意味の名古屋の方言でみかんの缶詰やジュースを使用して酸味を出したフルーティでさわやかなカレーです。

**3位 3A インド風ブリザードカレー** インド風をイメージしたターメリックライスを手のように高く盛り付け、冬の高山に降る吹雪(ブリザード)を刻みのりにみたくてふりかけたカレーです。

次号では、1位になったカレーのレシピを紹介します。

栄養士 遠山 陽子



## 進路

10月から神奈川県最低賃金が50円上がり1162円になりました。(東京に次いで全国2位)

2026年7月、障害者の法定雇用率は2.7%に引き上げられます。賃金と雇用率2つのアップは就労を目指す支援学校生徒にとって追い風ではありません。

しかし、同時に就労するにはそれに伴う力が必要になってきます。卒業後すぐに就職を目指すのか、それとも訓練機関を利用するのか、は日常生活や実習を通じて、様々な経験をもとに考えていくこととなります。

さて、只今、現場実習真っ只中。現時点で実習を終えた生徒、これから実習に向かう生徒、いろいろですが、現場実習は実際の進路先で今まで自分が様々な学校生活や日常生活のなかで蓄えてきた力を発揮する場です。そこでの成功体験は本人の自信につながります。しかし社会では必ずしも成功体験ばかりではありません。失敗から学ぶことも多々あります。失敗は、無難な成功体験以上に本人の力を伸ばす糧になっていきます。「失敗は成功の元」。学校生活は社会に出ていくための準備期間です。実習に限らず様々なことにチャレンジし、たくさんの失敗をして、それをその後の生活に生かしていきましょう。～くれぐれも同じ失敗を繰り返さないことが大切ですが～

進路担当 松井 英明

## 「秋の遊び場 in たかつ」 11/30(土)



11月30日(土)10:00~14:00、高津支援学校本校にて「秋の遊び場 in たかつ」を開催します。今年もあそび場ブースでのパラスポーツ体験、いろいろなワークショップ、ステージ発表、グルメ販売などを計画。新しい企画として高津支援の児童生徒や参加者みなさんで願いや祈りを込めて作る『ランタン祭り』も予定しています!

また、内容の一部を同時刻にオンライン配信する予定です。ぜひ、学校へ遊びに来てくださいね♪♪

★当日は少し大きな音が出ることがあります。地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

地域連携係長 高橋 里佳